

菅茶山 顕彰会 会報

創刊号

発行

菅茶山先生
遺芳顕彰会
昭和63年4月16日



菅茶山先生遺芳顕彰会 発足と菅茶山顕彰会会報 の発刊にあたって

菅茶山先生遺芳顕彰会
会長 高橋 令之

現在に生きる人々が、じぶんたちの社会の歴史をたどり、郷土を大きく変えた先人の遺業に想いをいたし、輝かしい歴史と勝れた伝統に誇りをいただき、更に、明日への明るい歴史を切り拓いていく意欲に燃えることは、誠に意義深いことと存じます。

わが神辺の町は、古く山陽道の要として、吉備文化を各地に拡げ伝えた重要な役割を果たしてきた地域であります。江戸期における大文化人菅茶山先生存在は、その象徴ともいえます。山陽道の街道筋に今も静かにたたずまいをみせる廉塾、その廉塾を基点として、頼山陽を始め数多くの文人墨客が往来し、備後一円に学問の波紋を大きくただよせた往時を偲び、わが神辺の町への理解を深め愛着をもつことが大切だと思います。そして、この古い輝かしい歴史と伝統の町の活性化をはかっていくことを願うものであります。そして、この顕彰会は、これから先特色ある町おこしの推進母体としてのはたらきを果たしていきたいものと思っております。

以上のようなねがいをこめて、この度菅茶山先生遺芳顕彰会が誕生いたしました。

心ある多くの方々の御賛同御参加を賜わり、この顕彰会々活動を通して、さまざまな顕彰行事の開催、研修活動、資料発行など多彩な活動を推進してまいりたく思っております。

併せて、会報を発刊し、茶山先生にまつわる情報の交流をはかってまいります。

顕彰会へのご加入と会報のご愛読を心からおねがいしあいさついたします。